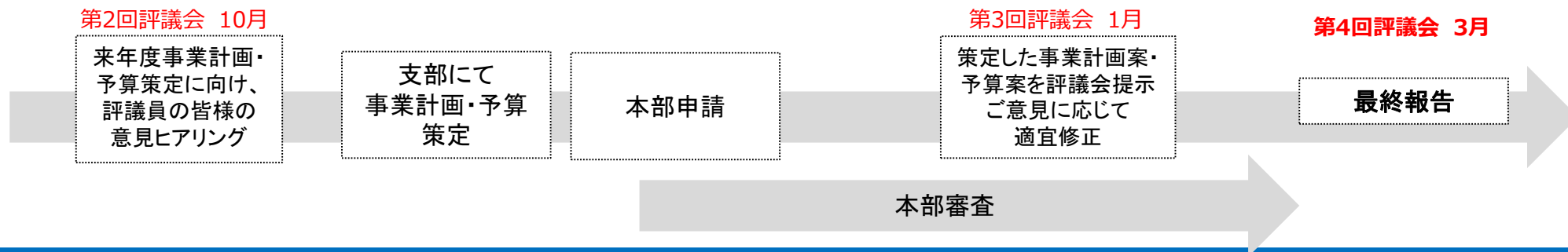


【議 題 2】 報告事項

令和7年度 福島支部 保険者機能強化予算の最終報告について

1月に本部へ提出いたしました予算案について、
本部から審査結果が通知されましたので、最終報告いたします。

【予算策定に関するスケジュール】



予算要求額・本部整理結果

①保険者機能強化予算			予算枠	要求額	本部審査結果
	A：医療費適正化等予算	通常枠	14,588千円	14,562千円	14,562千円
	・医療費適正化対策経費 ・広報・意見発信経費	特別枠	3,600千円	3,190千円	3,190千円
	B：保健事業経費 ・健診経費 ・保健指導経費 ・重症化予防事業経費 ・コラボヘルス事業経費 ・その他の経費	通常枠	67,892千円	67,876千円	67,876千円
		特別枠	16,790千円	9,988千円	9,988千円

②最重点広報経費	予算枠	要求額	本部審査結果
<令和7年度最重点広報テーマ> ・健診体系の見直し	2,605千円	2,543千円	2,543千円

福島支部の要求額はすべて本部承認となりました。
なお、令和7年3月21日開催予定の運営委員会での協議を経て、厚生労働大臣による認可を受けた上で定める令和7年度支部予算実施計画の通知(3月末予定)をもって確定となります。

内訳【①－A:医療費適正化等予算】

(千円)

区分		事業名・取組概要	令和7年度 支部要求案	本部整理 結果	(参考) 令和6年度	付帯事項
医療費適正化等予算	通常枠	【福島支部における課題に関するビジョン広告及びWeb広報の実施】 医療費の伸びを抑えるための取り組みとして、ビジョン広告、WEB広告を活用し、地域の課題に応じた集中的な広報を実施する。 ・いわき市／南相馬市 ジェネリック医薬品の使用促進および健診受診、保健指導実施勧奨 ・県中地域 喫煙者数が県内で最も多い。	3,295	3,295	2,407	
		【広報媒体を活用した福島支部事業の周知広報】 インセンティブ制度の実績向上に向けて、健診受診やジェネリック医薬品の積極的な使用を加入者・事業主へ働きかけるため、地方新聞の記事下広告（年2回）および商工会議所会報誌へのチラシ折込（県内6か所×1回）、タウン情報誌掲載（年1回）を実施。	7,802	7,802	3,974	
		【紙媒体による広報】 毎月、日本年金機構から全事業所宛に送付される社会保険料の納入告知書（納付書）に同封する チラシ等の印刷	2,981	2,981	5,822	
		新規【地域における、健診リスク、特定健診受診に関する広報の実施】 福島支部は健診リスク保有率中でも「メタボリックシンドローム」、「血压」、「脂質」が特に高い。これらの課題について、二次医療圏別に分析し、福島県内でも特にリスクが高い地域の市政だより等を活用し、直接的に周知広報することで意識向上及び行動変容を図る。	484	484	—	
		広報・意見発信 計	14,562	14,562	—	
	広報・意見発信経費（通常枠） 合計			14,562	14,562	—

区分	事業名・取組概要	令和7年度 支部要求案	本部整理 結果	付帯事項
特別 枠	新規【地域・年齢を絞った保険証カバー活用による医療費適正化の推進】 上手な医療のかかり方に関する内容をプリントした保険証カバーを作成。 (マイナ保険証、こども医療費受給者証、診察券等を一体収納) 薬剤師会へ協力を仰ぎ、浜通りに所在する小児科門前薬局を中心に、調剤薬局を通じて協会けんぽ加入者へ配布する。 【課題・現状】 福島支部の医療費（年齢調整後）は全国平均よりも低いものの、浜通り（相双・いわき）の外 来医療費は全国平均よりも高い。また、この地域のジェネリック医薬品使用割合（調剤）は全国 平均を下回り、県内で最も高い二次医療圏とは5ポイント以上の差がある。 県全体の年代別の使用割合は、全国同様に5-9歳、10-15歳、16-19歳が低い。 【保険証カバーイメージ】 ジェネリック医薬品に 切り替えましょう  バイオシミラーを ご存じですか？ 小児救急でんわ相談 #8000 休日・夜間の こどもの症状に 困ったら  マイナ保険証 こども医療費受給者証 診察券を一体収納  薬剤師会へ協力を仰ぎ、ジェネリック医薬品 使用割合が低い浜通りに所在する調剤薬局 (主に小児科)を通じて、加入者へ配布	3,190	3,190	効果検証においては、 配布対象地域と その他の地域における 子ども（0-14歳）と その親（30-49歳） のジェネリック医薬品の 使用割合伸びの比較 を行うこと。
	医療費適正化等予算（特別枠） 合計	3,190	3,190	

内訳【①－B：保健事業経費算】

(千円)

区分		事業名・取組概要	令和7年度 支部要求案	本部整理 結果	(参考) 令和6年度	付帯事項
保健事業経費予算	通常枠	①健診実施機関実地指導旅費（健診機関を訪問し、事務の実地確認・指導）	220	220	213	
		②事業者健診結果の取得（外部委託による事業所への勧奨・紙媒体データ化）	9,045	9,045	7,797	
		③協会主催の集団健診（被扶養者を対象とした出張0円健診の勧奨DM作成・会場使用料）	7,946	7,946	7,431	
		④受診勧奨等経費 （健診の年次案内、健診機関不足地域での被保険者を対象とした健診の開催・勧奨等）	5,649	5,649	4,854	
		健診経費 計	22,860	22,860	—	
		⑤中間評価時の血液検査費（保健指導の継続支援中での血液検査費用）	4,026	4,026	5,280	
		⑥顧問医師への謝金	154	154	154	
		⑦保健指導等データ等送料（在宅保健師との書類受け渡しの送料）	1,325	1,325	1,149	
		⑧保健指導用パンフレット作成等経費	132	132	660	
		⑨保健指導用事務用品費（血圧計などの測定機器の購入）	306	306	271	
		⑩保健指導用図書購入費	148	148	70	
		⑪公民館等における特定保健指導（会場使用料）	230	230	170	
		⑫保健指導利用勧奨経費（健診日当日、健診機関での実施を勧奨するポスターチラシ作成）	1,179	1,179	999	
		⑬保健指導利用勧奨経費 （健診受診を契機に節制を促すため指導基準間際の者へ前年受診日を参考にDM送付）	886	886	3,007	
		新規⑭保健指導利用勧奨経費 （保健指導実施契約がない健診機関において、健診日当日に外部委託による遠隔面談実施）	1,311	1,311	—	
		保健指導経費 計	9,697	9,697	—	

区分	事業名・取組概要	令和7年度 支部要求案	本部整理 結果	(参考) 令和6年度	付帯事項
通常 枠	⑮未治療者に対する受診勧奨 (医療機関の早期受診を促すチラシを作成し、健診結果に受診勧奨チラシを同封)	688	688	689	
	⑯未治療者に対する受診勧奨 (受診結果返信用のはがきを作成し、医療従事者から手渡しし、早期受診を強く働きかける)	570	570	4,609	
	新規⑰外部委託を活用した受診勧奨 (医療機関を受診を促す一次勧奨発送後、回答がない者に対し、支部で二次勧奨を実施)	2,466	2,466	—	
	⑱糖尿病性腎症患者の重症化予防対策 (福島県のプロプログラムに基く受診勧奨と保健指導)	3,460	3,460	220	
	重症化予防対策 計	7,184	7,184	—	
	⑲取組支援 (健康事業所宣言の広報、ふくしま健康経営優良事業所認定アンケート等)	3,753	3,753	5,052	
	⑳取組支援 (出前講座・健康測定機器の貸し出しなどのサポート事業)	13,032	13,032	14,244	
	新規㉑取組支援 (事業所での健康づくりのヒント集「健康づくりの手引き」の作成)	2,035	2,035	—	
	㉒宣言事業所数の拡大 (勧奨に使用する送付物の作成、外部委託による電話勧奨)	794	794	1,003	
	㉓情報提供ツール (事業所業所ごとの健康状態をまとめた健康度レポートの送付等)	1,207	1,207	1,124	
	コラボヘルス事業経費 計	20,821	20,821	—	
	㉔小学校における健康教室 (対面授業用テキスト作成、配布リーフレット・動画作成費用)	2,096	2,096	0	
	㉕福島県の健康課題である禁煙セミナーの開催	775	775	0	
	㉖LINE公式アカウントを活用した情報配信 (健診・指導の日程等の情報を中心に配信)	2,002	2,002	2,266	
	新規㉗尿中塩分測定実施を契機とした減塩に対する意識向上 (減塩への意識付けとして、健康宣言事業所を対象に尿中塩分測定を実施)	2,441	2,441	—	
	その他の経費 計	7,314	7,314	—	
保健事業予算(通常枠)合計		67,876	67,876	—	

区分	事業名・取組概要	令和7年度 支部要求案	本部整理 結果	(参考) 令和6年度	付帯事項
特別枠	新規 【オーダーメイド型の個人宛て禁煙勧奨通知および事業所宛て禁煙取組勧奨通知】 喫煙をしている加入者個人（20,000名）には禁煙や受動喫煙防止を促す内容、喫煙率が高い業態の「健康事業所宣言」事業所（600社）には喫煙対策の取り組みを促す内容の個別性の高いダイレクトメールを送付する。 【課題・現状】 ◎2022年度国民生活基礎調査において、福島県民は喫煙率が全国ワースト1位 ◎協会けんぽ問診データを使った分析では次のとおり。 ・業態別では「総合工事業」、「道路貨物運送業」の喫煙の割合が高く、年々悪化。 ・性別、年代別にみると男女ともに35歳から59歳が喫煙者の割合が高い。 【令和3年度に加入者個人宛の同事業を実施】 喫煙者を対象に、健診結果から推測した血管年齢および心筋梗塞、脳卒中の疾病発症確率をお知らせした個別性の高いオーダーメイド型通知DMを約30,000件送付。その後の問診票の追跡で、行動変容した者の割合（喫煙→禁煙）を確認したところ、DM対象者は非対象者よりも3.4%高く、一定の効果が確認できた。 R3送付物サンプル 	9,988	9,988	—	
	保健事業予算（特別枠） 合計	9,988	9,988	—	

令和7年度テーマ

健診体系の見直し



現役世代への取組をより一層推進する観点から、健診体系を見直し、令和8年度から被保険者、令和9年度から被扶養者の健診内容の拡充を図る。

（具体的な見直し内容については次ページ参照）

令和8年度から健診体系が大きく変わる予定であることから、拡充内容について積極的に周知広報を行い、受診率の向上を図る。

令和8年度

被保険者 具体的な見直し

人間ドックに対する補助の実施

- 一定の項目を網羅した人間ドックに対する補助を実施

若年層を対象とした健診の実施

- 20歳、25歳、30歳に実施

生活習慣病予防健診の項目等の見直し

- 「骨粗鬆症検診」を実施
- 検査項目や健診単価の検証・見直しの実施

(千円)

事業名・取組概要		令和7年度 支部要求案	本部整理結果
①新聞広告の掲載		1,788	1,788
②商工会議所会報誌へのチラシ折り込み		436	436
③（県内全域カバー）情報誌掲載		319	319
最重点広報経費 合計		2,543	2,543